

令和 4 年 11 月 25 日 メルボルン交流抄

「ビクトリア州分離 172 周年記念行事」

今回は、19 世紀に遡りたいと思います。1850 年 11 月 15 日にビクトリア(VIC)州がニュー・サウス・ウェールズ(NSW)州から分離したことが公表されました。先日、メルボルンの王立植物園において、その 172 周年を記念する行事が行われてメルボルンの領事団が招かれました。特段日本との関係がある訳ではないのですが、どの様な行事か興味が沸き参加してきました。

公園内に当時から残る大木の下に、次のようなプレートが置かれています。

“UNDER THIS TREE ON 15th NOVEMBER 1850, THE CITIZENS OF MELBOURNE REJOICED ON RECEIPT OF THE NEWS THAT VICTORIA WAS TO BECOME A SEPARATE COLONY.”
19 世紀当時の衣裳を身に付けた人達が行進を行い、その中の一人が VIC 州の分離の知らせを高らかに読み上げて参加者から歓声があがりました。そしてこの木の苗木が州内の各地から参加した市長などに配布されました。この行事を主催する非営利団体”THE VICTORIA DAY COUNCIL”のウォーターズ会長は、「このような重要な日を VIC 州の人々が忘れているのは非常に残念ですが、これからもこの行事は続けていきたい」とスピーチで述べていました。メルボルンの一部の人々は、いまでもシドニーに対するライバル意識を持っているようですそれが躍進するメルボルンの原動力になっているとも言えるのではないのでしょうか。



この分離を記念する大木から南東に少し向かったところに Toorak という地区があります。Toorak にはかつて 19 世紀に総督の邸宅がありました。その総督邸は Toorak House と呼ばれ、スウェーデン教会として今でも使われています。地元の人にも余り知られていないこの歴史的建造物の中で、172 年前の人々はビクトリア州の誕生を祝ったものと思います。静けさの中にかつての華麗さを漂わせる Toorak House。中にはカフェテリアもあり、今はクリスマス・マーケットが開催されています。Toorak 方面にお越しの方は一度立ち寄ってみてください。

